

2022年9月21日  
グンゼ株式会社

### CONTENTS

大阪御堂筋のイチョウ並木保存のための支援	P1
子供たちに緑の大切さを伝えるため「しょく育授業」をスタート	P2
生物多様性保全のため「モデルフォレスト活動」を推進	P3

2022年5月、グンゼ株式会社は中期経営計画「VISION 2030 stage1」を公表し、「経済的価値」と「社会的価値」を両立するサステナブル経営により社会貢献とグンゼの持続的成長を実現することを宣言しました。

このニュースレターでは、ニュースリリースだけでは伝えきれないグンゼのサステナブル経営の取り組みについて、定期的に報道関係者の皆さまにお届けします。

グンゼは、中期経営計画「VISION 2030 stage1」の基本戦略の一つとして「環境に配慮した経営」を掲げています。地球温暖化の一因であるCO2を削減するためには排出量を減らすとともに、植物によるCO2の吸収量と固定量を増やすことが重要となります。第2回目は、この緑豊かな環境づくりの取り組みについて紹介します。

## 大阪御堂筋イチョウ並木保存のための支援

グンゼは、大阪のシンボルである御堂筋のイチョウ並木を守り、後世に伝えていくために、2019年12月に大阪市と「御堂筋におけるイチョウの供給等に関する協定」を締結しました。この協定に基づき、グンゼはイチョウの植樹、育成を行い、大阪市の要請に基づき保全育成上必要なときに無償にてイチョウを供給します。

現在、御堂筋のイチョウ並木は約980本です。必要なイチョウを迅速に供給するためには、計画的な育成が必要です。そこで、連結子会社であるグンゼグリーン株式会社の調達能力を活かしています。グンゼグリーンは、20年以上前からこの御堂筋にイチョウの納入を行っており、すでに150本以上を納入した実績があります。

また、グンゼ創業の地である京都府綾部市の研究所敷地内にイチョウの圃場を設け、育成を行っております。

グンゼは、祖業である製糸業で培った桑の育成技術をベースとしたグリーンビジネスを通じ、御堂筋のイチョウ並木の保全に協力し、街の魅力の維持・向上に貢献したいと考えております。



綾部市のイチョウ圃場

## 子供たちに緑の大切さを伝えるため「しょく育授業」をスタート

グンゼグリーン株式会社では、子供たちに緑の大切さを伝えるため、緑の育ち方、環境とのかかわりを体感することができる「しょく育授業」をスタートしました。

「しょく育」とは、「植育」：実際に樹木を植えてもらうことで、緑の大切さを理解する、「触育」：実際の緑に触れてもらい、緑に愛着を持ってもらう、「食育」：レストランで発生する食品残渣のコンポストを植え込み時の肥料として活用することで、食の大切さを理解する を掛け合わせた造語です。

実際の植樹体験を通じ学んでいただくことで、より記憶に残る体験を目指しています。まだまだスタートしたばかりの活動ですが、関西（兵庫県尼崎市）、関東（埼玉県川口市）、茨城（茨城県稲敷郡）および横浜（神奈川県横浜市）の各営業所で指導員を育成中です。



茨城県笠間市立岩間中学校における「しょく育授業」の様子

### 【コラム】食品残渣のコンポスト利用

約1年前から、レストランで発生する食品残渣のコンポストを利用し、グンゼ様と元気な樹木育成を行う循環型システムの実証実験を開始しました。以前から、食品残渣の減量について取り組んできましたが、毎日残渣の重さを計量し見える化したこと、および、このコンポストが肥料となり樹木の育成に役立つことから、担当者のモチベーション向上につながり、大きく食品残渣を減量することができました。会員制クラブという特性から、お客様の顔が見えますので、お料理を提供する際に、少量をご希望の方などにはお声を掛けさせていただき、食べ残しを大きく減量することができました。

現在、レストラン内の装飾には造花を使用していますが、将来的にはグンゼ様と協業し、このコンポストを肥料として育てた観葉植物等に切り替えていきたいと考えています。



ガーデンシティクラブ大阪  
 総支配人 田中紀子様



ガーデンシティクラブ大阪レストラン



園場にてコンポストを肥料として散布



## 生物多様性保全のため「モデルフォレスト活動」を推進

グンゼは、生物多様性保全のため、京都モデルフォレスト活動に参加し、森林の保全活動に努めております。約12年前の2010年4月からこの活動を始め、現在では40回を重ねるに至りました。

京都府では、京都の森を守り育てる『京都モデルフォレスト運動』を推進しています。京都の森林を、森の恩恵を受けている府民みんなで守り、育む活動です。グンゼは、その理念に賛同し、京都モデルフォレスト協会に加盟し、創業の地である京都府綾部市小畑・鍛冶屋地区をフィールドとし活動しております。

グンゼは、桑や綿や水など自然の恵みを受けて事業を営んできました。創業の地で従業員や家族のボランティアによる里山保全活動を行うことで、環境や自然の大切さを実感するとともに、豊かな自然を未来に残すため、これからも貢献してまいります。

【これまでの京都モデルフォレスト活動のあゆみ】

2010年 4月 新入社員教育のプログラムの一環として、モデルフォレスト活動を開始

2010年 7月 京都府と「森林の利用保全に関する協定」を調印、京都モデルフォレスト協会に加盟

2016年 2月 活動内容が評価され、京都モデルフォレスト協会理事長賞を受賞

2018年10月 京都府と地域活性化、健康・医療、環境、子ども、スポーツ振興、防災、その他の7分野にわたる包括連携協定を締結、小畑城再生プロジェクト開始



2019年11月 ヤマザクラを植樹



2022年5月 第40回モデルフォレスト活動

### 【コラム】モデルフォレスト活動に参加して

同僚に誘われるかたちで、モデルフォレスト活動に参加しました。もともと環境問題には関心があり、機会があったら森と関わりたいと思っていました。この活動は人と森をつなげる場所を整備し、皆さまが山に入って楽しんでいただける場を提供する活動ですので、とてもやりがいを感じています。この活動により、人が森に入るきっかけとなり、生物多様性保全の重要性の気付きにつながればと思っています。

私は、山登り等自然に触れることが好きな家族の中で育ったため、自然と森に関わる機会が多く、環境問題に興味を抱くようになったと思います。そのため、大学でも環境問題を専攻しました。そして、グリーンビジネスに関わることのできる現在の職種を希望しました。

現在、私たちの活動している小畑城跡地では、春は自生しているミツバツツジや私たちが植樹したヤマザクラが楽しめます。しかし、秋に楽しめる樹木が少ないため、もみじ等の紅葉する樹木の植樹を提案していきたいと思っています。



グンゼグリーン株式会社  
関西営業所 中村美岐

#### 本件に関するお問い合わせ先

グンゼ株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報IR室（担当：野中、柳澤、坪田）

TEL:06-6348-1314 FAX: 06-6348-4814

GUNZEホームページ <https://www.gunze.co.jp/>